

原子力損害賠償事例集（令和3年5月版）について

令和3年5月
原子力損害賠償紛争解決センター

1. 経緯

- ・原子力損害賠償紛争解決センター（ADRセンター）では、当センターで実施されている和解仲介の結果が広く知られ、被害者に対する東京電力の損害賠償がより迅速・適切に行われることに資することを期待して、被害者が特定されないよう配慮しつつ、和解が成立した事例をホームページで公表しています。また、昨年6月、これまでに蓄積された和解事例を閲覧・検索しやすい形に整理し、原子力損害賠償事例集（令和2年5月版）として公表しました。
- ・今般、原子力損害賠償事例集（令和2年5月版）を追補する趣旨で、公表番号1554～1710までの事例をとりまとめ、原子力損害賠償事例集（令和3年5月版）として5月14日に公表いたしました。

2. 原子力損害賠償事例集（令和3年5月版）の構成について

- ・本事例集では、ADRセンターが既に公表している和解が成立した事例のうち、約160事例を整理しており、2部構成となっています。
 - 第1部
中間指針等に沿った損害項目ごとに、該当する和解が成立した事例の概要を、1件数行程度で紹介しています。
 - 第2部
和解が成立した事例について、これまでに公表を行ってきた順に、事案の概要（公表番号や和解が成立した事例の概要等）、基本情報（申立日や全部和解成立日、申立人人数等）、和解の概要（和解金額や損害項目等）及び主な論点についての解説が紹介されています。